

平成23年行政事業レビューシート

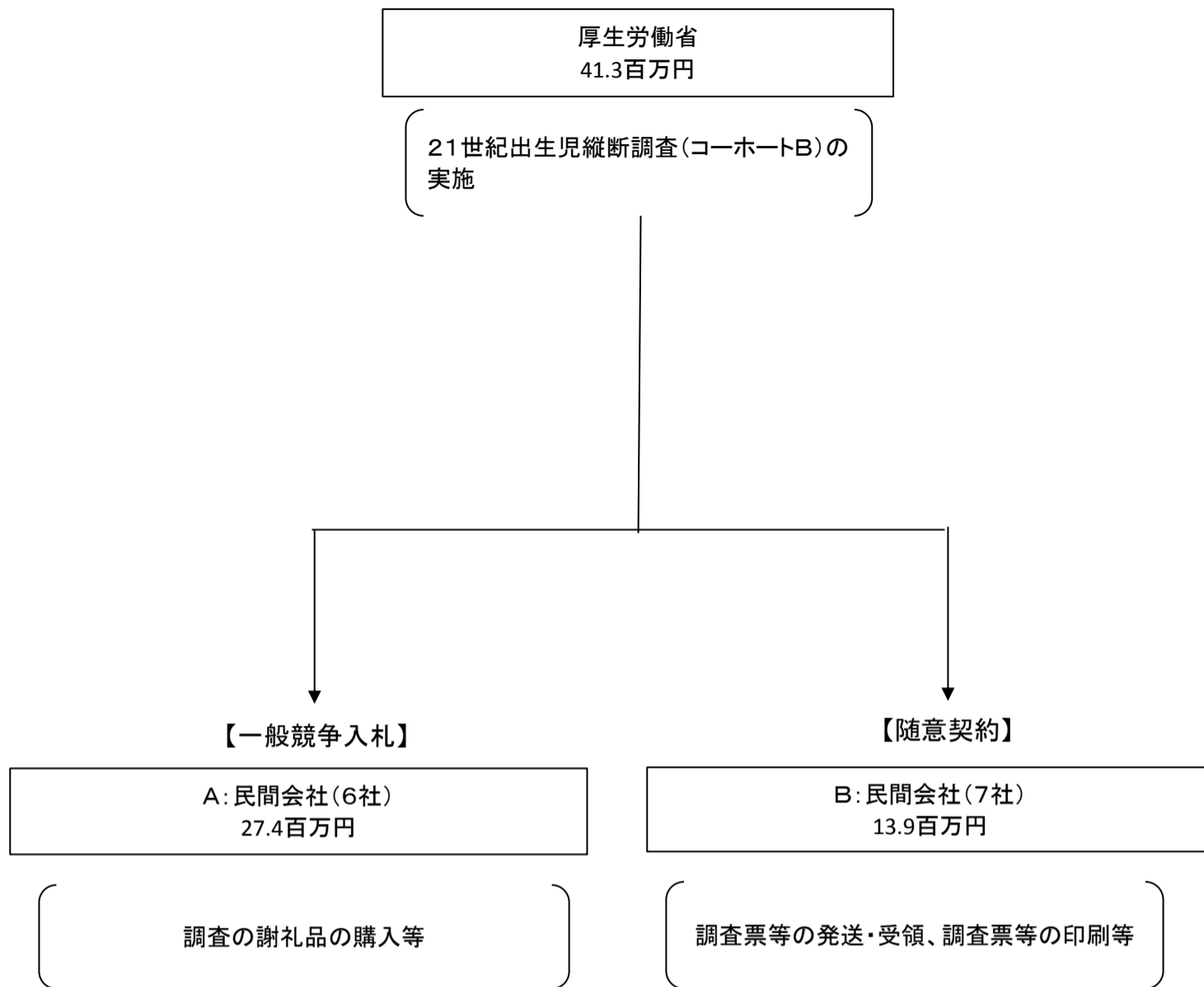
(厚生労働省)

事業名	縦断調査費（出生児縦断調査コーホートB）		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	社会統計課縦断調査室		室長 福元 俊成			
会計区分	一般会計 特別会計（雇用勘定）		施策名	男女労働者の均等な機会と待遇の確保対策、仕事と家庭の両立支援、パートタイム労働者と正社員間の均等・均衡待遇等を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法(平成19年5月23日法律第53号) 第19条		関係する計画、通知等	少子化対策等の厚生労働行政施策					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施のための基礎資料を得ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2010年5月10日から24日の間に出生した子を対象として、調査票の配布及び回収について往復郵送方式により行う。提出された調査票については当省において集計を行い、その結果を公表している。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算			45	35	40		
		補正予算							
		繰越し等							
	計				45	35	40		
	執行額				41				
執行率(%)				90.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	この事業は、省内各部局が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。			成果実績		-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	調査客体:約44千人 公表予定:平成23年12月			活動実績 (当初見込み)	千人	-	-	-	-
							(約44)	(約44)	
単位当たりコスト	938(円/1対象あたり)			算出根拠	41,290千円(H22執行額)÷約44千人(H22調査客体数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	印刷製本費	5.6	5.8						
	通信運搬費	14.5	15.0						
	雑役務費	5.1	8.5						
	消耗品費	10.2	10.6						
	計	35.5	39.9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については会計法令上認められている少額の随意契約である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>今後も調査を確実に実施することで、少子化対策等の厚生労働行政施策のための基礎資料を得る。また、調査の結果は、遅滞なく公表し国民の皆さまを始め本調査の利用者に提供する。調査の実施に当たっては、今後も適正かつ効率的な予算の執行に努めるものとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>特になし (事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。)</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.(株)そごう・西武			B. 郵政事業(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	消耗品費	調査の謝礼品の購入	15.1	通信運搬費	調査票の発送・受領の郵便料金	10.4
	計		15.1	計		10.4

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(6社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)そごう・西武	調査の謝礼品の購入	15.1	2	94.2%
2	(株)オープンループパートナーズ	調査票の受付・審査	6.4	2	69.8%
3	福寿印刷(株)	調査票等の印刷	3.0	6	30.6%
4	(株)日経スタッフ	名簿作成	1.3	8	39.4%
5	(株)イマージュ	データ入力	1.2	5	77.1%
6	中野倉庫運輸(株)	調査票等の梱包	0.4	8	18.9%

B. 民間会社(7社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	郵政事業(株)	調査票の発送・受領の郵便料金	10.4	随意契約	
2	大和総合印刷(株)	誕生日カード等の印刷	1.3	随意契約	
3	(株)ミクニ商会	目隠しシール、宛名ラベル、目隠しシール及び宛名ラベルの購入	1.0	随意契約	
4	協新流通デベロッパー(株)	調査票等の梱包	0.6	随意契約	
5	(株)そごう・西武	調査の謝礼品の購入	0.6	随意契約	
6	(独)国立印刷局	官報公告	0.1	随意契約	
7	(株)三陽堂	ケイハイ箱製造	0.0	随意契約	